

科目名	ホテルマネジメントB						
科目名(英)	Hotel Management B						
単位数	2単位		時間数	32時間		担当者	小形 享平
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	日系ホテルと外資系ホテル 料飲部門、宴会部門にて勤務
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 2年						
授業概要	ホテルビジネス実務検定ベーシック1級もしくは2級の合格を目指す。検定の学習を通して、現場での実践に活かせる業務に関するより詳しい知識を身につける。						
授業形態	講義：○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					宴会部門の業務を理解し説明できる	
	○					ブライダルに関する特別な知識を覚える	
	○					調理部門の組織・業務分担を理解し説明できる/調理機器や調理用語を覚える	
	○					調理の基礎知識(フランス料理の歴史、特徴、メニュー)を覚え説明できる	
		○				ホテルビジネス実務検定合格	
テキスト・教材 参考図書	ホテルビジネス、問題集、プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要説明、評価方法/前期内容復習				授業内容の復習をしておくこと	
	2	宴会部門の概要 部門の特徴、レストランとの違い				授業内容の復習をしておくこと	
	3	宴会部門の実務 宴席の種類と宴会ならではの什器				授業内容の復習をしておくこと	
	4	宴会部門の知識①冠婚葬祭や年中行事				授業内容の復習をしておくこと	
	5	宴会部門の知識②婚礼の基本				授業内容の復習をしておくこと	
	6	調理部門の概要 サービス部門との関わり				授業内容の復習をしておくこと	
	7	調理部門の知識①フランス料理、その他の国の料理				授業内容の復習をしておくこと	
	8	調理部門の知識②和食、日本料理の基礎知識				授業内容の復習をしておくこと	
	9	調理部門の知識③中華料理の基礎知識				授業内容の復習をしておくこと	
	10	調理部門の知識④調理に使用する什器、業務関連用語				授業内容の復習をしておくこと	
	11	部門別まとめ 基礎部門～宿泊部門				授業内容の復習をしておくこと	
	12	部門別まとめ 料飲部門～調理部門				授業内容の復習をしておくこと	
	13	過去問題				授業内容の復習をしておくこと	
	14	過去問題②				授業内容の復習をしておくこと	
	15	過去問題③				授業内容の復習をしておくこと	
	16	過去問題④、まとめ				授業内容の復習をしておくこと	
評価方法	(1)授業中の小テスト (2)過去問題まとめテスト (3)検定結果 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	○					20%
	過去問題まとめテスト	○	○		○		30%
	検定結果	○	○				50%
履修上の注意	出席が11回に満たない場合は、単位を付与しない。						

科目名	HRS対策B							
科目名(英)	National Trade Skill Test for the Restaurant Service B							
単位数	2単位		時間数	32時間		担当者	木村 匡志	
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	外資系ホテルにて、 料飲部門スタッフとして勤務	
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 2年							
授業概要	秋季に実施される「レストランサービス技能検定3級(実技試験)」の合格を目指し、課題に特化した接客の基本、朝食・昼食におけるサービス技術を習得する。							
授業形態	講義:		演習:	○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
	○					朝食・昼食時のサービスの流れを覚える		
		○				オーダーテイクや食事提供時の説明、問いかけの言葉を状況に応じて使い分けることができる		
			○			技能試験実技に必要なサービス技術を習得し、合格する		
テキスト・教材 参考図書	日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法 基礎からわかる レストランサービス スタンダードマニュアル							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	技能検定の概要説明、実技試験の流れ説明					スーツ、料飲実習服を着用のこと	
	2	基礎練習(バッシング&リセット、サーバー)でタイムを意識する					スーツ、料飲実習服を着用のこと	
	3	基礎練習(トレーサービス、料理の提供、ドリンクサービス)					スーツ、料飲実習服を着用のこと	
	4	水のサービス～リセットまで(オーダーテイク含む)①					スーツ、料飲実習服を着用のこと	
	5	水のサービス～リセットまで(オーダーテイク含む)②					スーツ、料飲実習服を着用のこと	
	6	水のサービス～リセットまで(オーダーテイク含む)③					スーツ、料飲実習服を着用のこと	
	7	客席案内～下げコーナーリセットまで(すべての課題を実施)①					スーツ、料飲実習服を着用のこと	
	8	客席案内～下げコーナーリセットまで(すべての課題を実施)②					スーツ、料飲実習服を着用のこと	
	9	通し練習(目標時間10分以内)					スーツ、料飲実習服を着用のこと	
	10	通し練習(目標時間9分以内)					スーツ実習服着用(靴も受験時に履く靴を持参すること)	
	11	通し練習(目標時間8分以内)					スーツ実習服着用(靴も受験時に履く靴を持参すること)	
	12	通し練習(目標時間7分30秒以内)					スーツ実習服着用(靴も受験時に履く靴を持参すること)	
	13	失敗時の対処法(失敗した時の対処方法)					スーツ実習服着用(靴も受験時に履く靴を持参すること)	
	14	失敗時の対処法(失敗した時の対処方法)					スーツ実習服着用(靴も受験時に履く靴を持参すること)	
	15	実技試験、検定前 総仕上げ					受験時の身だしなみで受講(爪も切っておくこと)	
	16	実技試験、検定前 総仕上げ					受験時の身だしなみで受講(爪も切っておくこと)	
評価方法	(1)実技試験(2)通し練習での評価(3)意欲点(スーツ・料飲実習服・身だしなみ・出席状況)(4)検定結果 以上を下記の観点、割合で評価する 成績評価はS(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	実技試験			○	○		40%	
	通し練習での評価			○	○		20%	
	意欲点				○		30%	
	検定結果					○	10%	
履修上の注意	授業を受講する際はスーツ・料飲実習服を着用し、料飲サービスにふさわしい身だしなみで参加すること。 授業欠課が6回以上になった場合は単位を与えない。							

科目名	バーテンダー						
科目名(英)	Bartender						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	古賀 大介
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	日系ホテル料飲部にて勤務経験
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 2年						
授業概要	座学での講義や実演及び実技によるバーテンダーとして現場に必要な基本知識・技術の習得を行う。 また、学生個々によるオリジナルカクテルの創作にてカクテルコンペティションの実施を行う。						
授業形態	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					飲料における基本知識を説明できる	
	○					カクテル他飲料におけるバーツールの基本的な取り扱いを行う	
			○	○		各自オリジナルカクテルの創作と発表	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	カクテル学・バー業界総論・講師によるカクテル作成実演				授業内容を復習しておくこと	
	2	酒類総論・バーツールの取り扱い方				授業内容を復習しておくこと	
	3	カクテルで使用する主な蒸留酒の概要とそのカクテルについて				授業内容を復習しておくこと	
	4	リキュール・その他の概要とそのカクテルについて				授業内容を復習しておくこと	
	5	確認テスト/筆記試験				授業内容を復習しておくこと	
	6	フレアバーテンディングについて				動きやすい服装で参加すること	
	7	カクテル創作の進め方				授業内容を復習しておくこと	
	8	カクテルの創作及び実技練習(バースプーンと使用システアの練習)				授業内容を復習しておくこと	
	9	カクテルの創作及び実技練習(ボトル・メジャーの取り扱い練習)				授業内容を復習しておくこと	
	10	カクテルの創作及び実技練習(シェーカーを使いシェークの練習)				授業内容を復習しておくこと	
	11	カクテルの創作及び実技練習(カクテルコンペ試技の通し練習)				カクテルコンペティションの準備を進めること	
	12	カクテルの創作及び実技練習(カクテルコンペ試技の通し練習)				カクテルコンペティションの準備を進めること	
	13	レシピ用紙提出・実技練習(カクテルコンペ試技の通し練習)				カクテルコンペティションの準備を進めること	
	14	学内カクテルコンペティション予選				カクテルコンペティションの準備を進めること	
	15	学内カクテルコンペティション本選				カクテルコンペティションの準備を進めること	
評価方法	(1)授業の中で確認テストを実施する(2)創作カクテルコンペティションの実施(レシピ作成・実演) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○	○				20%
	カクテルレシピ		○		○		40%
	カクテルコンペティション			○	○		40%
履修上の注意	カクテルの試飲を行う日は徒歩または公共交通機関を利用して登校すること。 出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	ワイン学						
科目名(英)	Wine Learning						
単位数	1単位		時間数	28時間		担当者	三角 康一郎
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	ソムリエとして12年勤務
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 2年						
授業概要	ホテルのレストランやバー等におけるソムリエの業務を学び、その基礎となるワインについての幅広い知識の習得を目指す。						
授業形態	講義： ○		演習： △		実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				ワインの基礎的な知識を説明できる。	
			○			適切なワインサービスができる。	
		○				ワインを通して各国の文化を関係付ける。	
テキスト・教材 参考図書	日本ソムリエ協会教本						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	アルコール類とワインの歴史					授業内容を復習しておくこと
	2	ワインの分類、栽培方法、醸造学①					授業内容を復習しておくこと
	3	ワインの分類、栽培方法、醸造学②					授業内容を復習しておくこと
	4	テイステイング方法、ワインの表現					授業内容を復習しておくこと
	5	白ワインの製法、試飲					授業内容を復習しておくこと
	6	赤ワインの製法、試飲					授業内容を復習しておくこと
	7	スパークリングワインの製法、試飲					授業内容を復習しておくこと
	8	世界のワイン生産国①					授業内容を復習しておくこと
	9	世界のワイン生産国②					授業内容を復習しておくこと
	10	世界のワイン生産国③					授業内容を復習しておくこと
	11	世界のワイン生産国④					授業内容を復習しておくこと
	12	世界のワイン生産国⑤					授業内容を復習しておくこと
	13	世界のワイン生産国⑥					授業内容を復習しておくこと
	14	世界のワイン生産国⑦					授業内容を復習しておくこと
評価方法	(1)ミニテスト (2)出席状況を意欲点として評価 (3)レポート課題の内容、提出状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	ミニテスト	◎	○				30%
	意欲点				◎		30%
	レポート課題	◎	○				40%
履修上の注意	ワインの試飲を行う日は徒歩または公共交通機関を利用して登校すること。 出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	ブライダル概論						
科目名(英)	Introduction to Bridal						
単位数	1単位		時間数	28時間		担当者	一岡 浩己
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	外資系ホテル13年勤務
対象学科・学年	ホテルリゾート科 2年						
授業概要	ホテル内の婚礼部門を知る。ブライダルに関する商品や知識を深めホテル内の婚礼の重要性を学ぶ。披露宴の進行を把握しスタッフの動きを学ぶ。						
授業形態	講義： ○		演習： △		実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				ブライダル(婚礼)の定義・成り立ちを知り説明する事ができる。	
		○	○			披露宴の進行を理解しスタッフの動きを説明する事ができる。	
	○	○				ブライダル商品について知識を深め説明する事ができる。	
テキスト・教材 参考図書	株式会社 マーケティング・オフィス 宴会管理論 小野田正美 著						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	ホテル内の婚礼部門・婚礼の定義について 挙式スタイルについて(キリスト教式・神前式・仏前式・人前式)					教科書を読み、わからない単語を調べておくこと。
	2	婚礼における市場カテゴリーと披露宴の内容					教科書を読み、わからない単語を調べておくこと。
	3	披露宴の流れについて(進行について)スタッフの動き① ・入場から乾杯までの解説					進行の順番を覚える。
	4	披露宴の流れについて(進行について)スタッフの動き② ・入場から乾杯まで(実技)					説明・進行の順番を覚える。
	5	披露宴の流れについて(進行について)スタッフの動き③ ・ケーキ入刀からキャンドルサービスまでの解説					進行の順番を覚える。
	6	披露宴の流れについて(進行について)スタッフの動き④ ・ケーキ入刀からキャンドルサービスまで(実技)					説明・進行の順番を覚える。
	7	披露宴の流れについて(進行について)スタッフの動き⑤ ・余興からお見送りまでの解説					進行の順番を覚える。
	8	披露宴の流れについて(進行について)スタッフの動き⑥ ・余興からお見送りまで(実技)					説明・進行の順番を覚える。
	9	小テスト①＋解説					小テスト対策をしておくこと。
	10	婚礼販売の現状と今後の展望 ・販売促進の概要					教科書を読み、わからない単語を調べておくこと。
	11	ホテルのウェディングプラン調査(レポート作成)①					調査したいホテルをリストアップしておくこと
	12	ホテルのウェディングプラン調査(レポート作成)②					調査したいホテルをリストアップしておくこと
	13	婚礼の打合せについて (料理・飲物・衣装・写真・装花・進行・配席・印刷物・演出・その他)					教科書を読み、わからない単語を調べておくこと。
	14	ブライダル概論総まとめ ・レポート作成について					授業全体を振り返り、レポート作成に準備を行うこと
評価方法	(1)小テスト1回実施する。(2)レポート提出(期限・内容) (3)受講する上での持参物(スーツ・プリント・教科書等)および意欲(出席回数) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎	○				20%
	レポート①	◎			○		30%
	レポート②	◎					30%
	持参物および意欲				○		20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、評価Dとする。						

科目名	ホテルマーケティング論						
科目名(英)	Hotel Marketing						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	柳原 久一郎		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	ホテル経営企画26年		
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 2年						
授業概要	実務例をベースに現在のトレンドを踏まえて国際観や経済観を兼ねた マーケティングセンスを身につけることを目指した学習を行う。身近な分野の問題や改善点を捉えながら、マーケティング手法やツールを認識しながらワークショップや演習を通じて感覚を磨いていく。収入を増やす仕組み、宣伝方法、そして費用構造を学び、経営者感覚に触れる。						
授業形態	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				ホテルや関連業界の近況をマーケティングの観点から説明できる	
	○	○				SNSなどを活用したビジュアルな宣伝活動の重要性を理解できる	
	○	○				顧客管理やブランディングなどの手法を使った事例を説明できる	
	○	○				経営に必要なPDCAサイクル論などを理解しその重要性を説明できる	
	○	○				新しい時代のホテル像と自身が目指す役割をレポートできる	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	マーケティングの基本とホテル運営との関わり スタートアップチェック				確認テスト1回目に向けて復習すること	
	2	大きく変動するホテル・航空・旅行 国際的ビジネス				確認テスト1回目に向けて復習すること	
	3	ホテルの稼働に大きく貢献するMICEとは？ 福岡市の取り組みと世界の動向				確認テスト2回目に向けて復習すること	
	4	新時代のホテルの方向性 施設とサービスのあり方				確認テスト2回目に向けて復習すること	
	5	食の多様化への対応と動向 地域資源の活用と商品化				確認テスト2回目に向けて復習すること	
	6	SDG'sとホテルの役割 スタッフとしての心得				確認テスト3回目に向けて復習すること	
	7	マスメディアの現状とホテル業界での活用				確認テスト3回目に向けて復習すること	
	8	進化するインターネット(WEB)メディアと活用				確認テスト3回目に向けて復習すること	
	9	SNSを活用したPR活動 インフルエンサー・ステマとは？				確認テスト4回目に向けて復習すること	
	10	マーケティング活動の基本 SWOT分析とは				確認テスト4回目に向けて復習すること	
	11	販売促進について 新商品や新企画の必要性				確認テスト4回目に向けて復習すること	
	12	顧客管理とビッグデータ 個人情報の扱い ステークホルダーとは				確認テスト5回目に向けて復習すること	
	13	ブランディングとは 固定費・変動費をシミュレートする				確認テスト5回目に向けて復習すること	
	14	マーケティングを活用するPDCAサイクルと事業の成功				確認テスト5回目に向けて復習すること	
	15	総合復習 レポート提出				期日内にレポートを提出すること	
評価方法	授業内にて確認テストを5回(第3回・6回・9回・12回・15回)実施する 各回20点 5回予定 最終回提出 レポート(マーケティングの観点から私が考える新しい時代のホテル像)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト5回	◎	◎				40%
	レポート提出	◎	◎				60%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	ホテル業界研究									
科目名(英)	Hotel Industry Research									
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		一岡 浩己 / 小形 享平	
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験		外資系ホテル13年勤務 日系ホテル・外資系ホテル勤務	
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 2年									
授業概要	ホテル業界への研究や考察を発展させ、2年間に渡るホテルに関する学びを発表の場を作り、他者の前で披露することで集大成とする。									
授業形態	講義:		演習: ○		実習:		実技:		※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
		○				ホテル業界に関する各自が設定したテーマで研究を進めて結論を立てる。				
		○				様々な授業での学びや気づきも含め、発表の場で説明することができる。				
テキスト・教材 参考図書	なし									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	授業、イベントの概要説明・ペアワークについて					研究テーマを考えておくこと			
	2	研究・考察・ディスカッション(ペアワーク)					研究テーマを考えておくこと			
	3	個人業界研究:テーマ決め					授業外でも研究・考察を進めること			
	4	個人業界研究:テーマ決め・研究・考察・論文作成					授業外でも研究・考察を進めること			
	5	研究・考察・論文作成					授業外でも研究・考察を進めること			
	6	研究・考察・論文作成					授業外でも研究・考察を進めること			
	7	研究・考察・論文作成					授業外でも研究・考察を進めること			
	8	研究・考察・論文作成					授業外でも研究・考察を進めること			
	9	研究・考察・論文作成					授業外でも研究・考察を進めること			
	10	研究・考察・論文作成					授業外でも研究・考察を進めること			
	11	研究・考察・論文作成					授業外でも研究・考察を進めること			
	12	発表用PPT作成や配布資料の作成、発表練習					授業外でも研究・考察を進めること			
	13	発表リハーサル					発表準備を行うこと			
	14	研究発表会(予選)					発表準備を行うこと			
	15	研究発表会(決勝)					発表準備を行うこと			
評価方法	(1)ペアワークでの評価(報告・取り組み姿勢)(2)個人研究での報告(提出) (3)個人研究での論文提出(4)個人研究での発表 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	ペアワークでの評価 (報告・論文提出)				○		10%			
	個人研究での報告		○	○	○		30%			
	個人研究での論文提出				○		30%			
	個人研究での発表	○	○	○	○		30%			
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を付与しない。									

科目名	英語検定(TOEIC)対策ⅡB										
科目名(英)	TOEIC Test StrategiesⅡB										
単位数	4単位		時間数		60時間		担当者		和田 菜穂 / 野々村 賢一		
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験				
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科 海外ビジネス科 トラベル科 ホテル・リゾート科 2年										
授業概要	国際化が進む社会の専門性として、日常英会話にとどまらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの情報処理能力を念頭に業務を行うことが求められている。限られた時間の中で正確、かつ迅速に対応し、社会で必要とされる英語力に見合った力をつけることが重要である。この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格であるAレベル・TOEIC860点以上のスコア取得を目指し、問題演習を通して英語の4技能を伸ばしていく。										
授業形態	講義：○		演習：△		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標					
	○	○				社会性のある内容の文章を理解することができる。(読む) ・自分の業務に関連する議論の流れ、結論の理由が理解できる。 ・新製品がどういった点で従来のものよりも優れているのかについての説明を理解できる。					
	○	○				社会性のある内容を聞いて理解することができる。(聞く) ・ラジオのニュース番組で、最初にアナウンサーが言う主なニュース項目を理解できる。 ・自分の専門分野での発表やプレゼンテーションを聞いて理解できる。					
テキスト・教材 参考図書	TOEICテスト完全攻略リーディングVol1、2、Word Power4500、Listening Box for TOEIC他										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	導入、夏休み明け復習テスト、解答＆解説									
	2	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	3	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	4	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	5	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	6	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	7	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	8	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	9	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	10	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	11	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	12	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	13	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	14	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	15	中間テスト、解答＆解説					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	16	TOEIC対策 Multiple Passage攻略、実践模試、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	17	TOEIC対策 Multiple Passage攻略、実践模試、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
18	TOEIC対策 Multiple Passage攻略、実践模試、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。					

	19	TOEIC対策 Multiple Passege攻略、実践模試、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	20	TOEIC対策 Multiple Passege攻略、実践模試、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	21	TOEIC対策 Multiple Passege攻略、実践模試、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	22	TOEIC対策 Multiple Passege攻略、実践模試、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	23	TOEIC対策 Multiple Passege攻略、実践模試、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	24	Business Writing、語彙強化、Dictation	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	25	Business Writing、語彙強化、Dictation	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	26	Business Writing、語彙強化、Dictation	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	27	Business Writing、語彙強化、Dictation	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	28	Business Writing、語彙強化、Dictation	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	29	Business Writing、語彙強化、Dictation	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	30	定期試験対策 学期総括	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)TOEICを学期末に実施する。 評価方法は730点取得で100%、650点取得で95%、600点取得で90%とし以下も取得点数により評価に反映する。 (3)単語テストを複数回実施し、評価とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC	◎	○				30%
	単語テスト	◎	○		○		10%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定(2級)対策ⅡB				
科目名(英)	EIKEN Test/TOEIC Test Strategies ⅡB				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	岡本 彩
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	大学の研究センターにて海外の大学との連携業務(留学、シンポジウム等)
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科 海外ビジネス科 トラベル科 ホテル・リゾート科 2年				
授業概要	これまで身につけてきた英語の基礎力を様々な分野で応用できるようにするためには、日頃から幅広い内容の英語に多く触れ、それらを理解していく必要がある。この授業では、学校や仕事、趣味といった身近なものから文化や歴史、環境問題など多岐にわたるテーマに沿って学び、社会生活に必要な英語を使えるようになることを目指す。				
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			目標 説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)
	○	○			社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、100文字程度の英文を書くことができる。(書く)
	○	○			事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)
	○	○			与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また、説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す)
テキスト・教材 参考図書	英検過去問題集				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	オリエンテーション(授業の進め方、リスニングトレーニング)			
	2	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	3	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	4	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	5	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	6	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	7	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	8	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	9	英検本試験解説①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	10	英検本試験解説②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	11	TOEIC語彙、Part5、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	12	TOEIC語彙、Part5、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	13	TOEIC語彙、Part5、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	14	オリエンテーション(授業の進め方、リスニングトレーニング)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	15	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	16	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	17	英検二次対策 スピーキング／英検筆記対策(過去問題)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	18	英検二次対策 スピーキング／英検筆記対策(過去問題)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	19	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	20	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	21	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	22	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	23	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	24	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと

麻生外語観光＆ブライダル専門学校 シラバス

	25	英検ライティング、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	26	英検ライティング、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	27	英検ライティング、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	28	英検模試(筆記)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	29	英検模試(リスニング)、筆記解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	30	後期のまとめ	前回の復習を行って授業に臨むこと				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				40%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定(準2級)対策ⅡB				
科目名(英)	EIKEN Test/TOEIC Test Strategies ⅡB				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	中山 久豪
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	塾講師、英語講師
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科 海外ビジネス科 トラベル科 ホテル・リゾート科 2年				
授業概要	これまで身につけてきた英語の基礎力を様々な分野で応用できるようにするためには、日頃から幅広い内容の英語に多く触れ、それらを理解していく必要がある。この授業では、学校や仕事、趣味といった身近なものから文化や歴史、環境問題など多岐にわたるテーマに沿って学び、社会生活に必要な英語を使えるようになることを目指す。				
授業形態	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
	○	○			
目標					
説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)					
会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、100文字程度の英文を書くことができる。(書く)					
事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)					
テキスト・教材 参考図書	英検過去問題集				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	オリエンテーション、ディクテーション、音読、英検リーディング(短文の語句空所補充)			
	2	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	3	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	4	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	5	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	6	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	7	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	8	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	9	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	10	英検模擬試験			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	11	英検模擬試験			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	12	英検本試験解説			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	13	英検本試験解説			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	14	英検リーディング短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	15	英検リーディング短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	16	英検リーディング短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	17	英検二次対策 スピーキング／英検筆記対策(過去問題)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	18	英検二次対策 スピーキング／英検筆記対策(過去問題)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	19	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	20	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	21	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	22	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	23	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	24	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	25	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと

麻生外語観光＆ブライダル専門学校 シラバス

	26	英検ライティング、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	27	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	28	英検模擬試験 問題1 リスニング 解答&解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	29	英検模擬試験 問題1 リスニング 解答&解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	30	後期まとめおよび期末試験対策	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				40%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	English Conversation II B									
科目名(英)	English Conversation II B									
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		Andrew Highcock, Eoghan Mac Coille, Scott Anthony Newby	
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 2年									
授業概要	1. Raise students' English proficiency 2. Give students more confidence in using English 3. Workplace related English skills									
授業形態	講義: △		演習: ○		実習:		実技:		※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○					Raise students' English proficiency.				
	○	○				Give students more confidence in using English.				
	○					Workplace related English skills.				
テキスト・教材 参考図書	Speak Out Elementary Flexi Course Book2									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	Summer Vacation					none			
	2	9.3 Sorry I'm Late					Preview lesson materials and review previous lesson			
	3	9.4 Airport					Preview lesson materials and review previous lesson			
	4	9.5 Lookback + teacher's lesson					Preview lesson materials and review previous lesson			
	5	10.1 Life's a Lottery					Preview lesson materials and review previous lesson			
	6	10.2 Survive					Preview lesson materials and review previous lesson			
	7	10.3 Let's Do Something					Preview lesson materials and review previous lesson			
	8	10.4 Wild Weather					Preview lesson materials and review previous lesson			
	9	10.5 Lookback + teacher's lesson					Preview lesson materials and review previous lesson			
	10	11.1 I Don't Feel Well					Preview lesson materials and review previous lesson			
	11	11.2 One Thing At A Time					Preview lesson materials and review previous lesson			
	12	11.3 Help					Preview lesson materials and review previous lesson			
	13	11.4 Fat or Sugar?					Preview lesson materials and review previous lesson			
	14	Review and Practice for Speaking Test					Preview lesson materials and review previous lesson			
	15	Speaking Test					Review previous lesson material			
評価方法	Students evaluation: (1) Test – 50% (2) Class participation – 25% (3) Attendance – 25 % The scoring scheme is: S (90 and above); A (80~89); B (70~79); C (60~69); D (59 and below)									
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	定期試験 Semester End Exam		○	○		○		50%		
	小テスト In-class Tasks		○	○		○		50%		
履修上の注意	Students will not receive a grade if they miss more than 5 classes.									

科目名	中国語						
科目名(英)	Chinese Learning						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	陳 金陵
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 2年						
授業概要	中国語の基礎的な単語や文法を学習するとともに、ホテル現場での接客に使うフレーズを身につける。						
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				単語や常用表現フレーズを使い、自己紹介ができるようになる。	
	○	○				簡単な文法を使ってホテルに必要なフレーズが言えるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	配布プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	中国はどんな国、中国語の仕組み				授業内容を復習しておくこと	
	2	母音				発音の練習をしておくこと	
	3	鼻音と挨拶言葉				発音の練習をしておくこと	
	4	声調と鼻音の復習				発音の練習をしておくこと	
	5	子音半分と母音の組み合わせ				発音の練習をしておくこと	
	6	子音半分と母音の組み合わせ				発音の練習をしておくこと	
	7	発音の総復習とテスト				発音の練習をしておくこと	
	8	数字、年齢、各自の名前の言い方				名前などを正確に言えるようにしておくこと	
	9	日付けの言い方				授業内容を復習しておくこと	
	10	お金の言い方				授業内容を復習しておくこと	
	11	電話、携帯番号と部屋番号				授業内容を復習しておくこと	
	12	自己紹介用の単語				授業内容を復習しておくこと	
	13	自己紹介文作り				授業内容を復習しておくこと	
	14	発表とホテル用語				習った言葉の会話練習をしておくこと	
	15	二人組でホテル用語を使い会話の演習(テスト)				習った言葉の会話練習をしておくこと	
評価方法	(1)作文(自己紹介文)を作成する。(2)ホテル会話テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	自己紹介作文・発表		○		○		40%
	スピーチテスト		○		○		60%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	PowerPoint						
科目名(英)	PowerPoint						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	未定
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 2年						
授業概要	PowerPointプレゼンテーション技能認定試験初級合格を目標とし、スライドマスターの編集、アニメーションや画面切り替え効果の適用・編集、スライドショーの設定、配布資料の作成など、さまざまな目的や状況に応じてプレゼンテーションを作成・編集できるスキルを身に付ける						
授業形態	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○				プレゼンテーションを作成し、スライドに書式設定ができる	
		○				表やグラフ、オブジェクトの挿入ができる	
		○				画面切り替えやアニメーションを設定できる	
テキスト・教材 参考図書	PowerPointプレゼンテーション技能認定試験問題集(2019対応) Microsoft PowerPoint2019 クイックマスター						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	PowerPoint基本操作(テキスト・表・グラフ)①					
	2	PowerPoint基本操作(テキスト・表・グラフ)②					
	3	PowerPoint基本操作(図解・イラスト)①					
	4	PowerPoint基本操作(図解・イラスト)②					
	5	PowerPoint基本操作(目的にあわせた図解の作成)①					
	6	PowerPoint基本操作(目的にあわせた図解の作成)②					基本操作確認課題作成
	7	模擬試験実施 第1回問題 解説					
	8	模擬試験実施 第2回問題 解説					間違った問題の見直しをしておくこと
	9	模擬試験実施 第3回問題 解説					間違った問題の見直しをしておくこと
	10	模擬試験実施 第4回問題 解説					間違った問題の見直しをしておくこと
	11	模擬試験実施 第5回問題 解説					間違った問題の見直しをしておくこと
	12	模擬試験実施 時間を測りながら演習、解説①					間違った問題の見直しをしておくこと
	13	模擬試験実施 時間を測りながら演習、解説②					間違った問題の見直しをしておくこと
	14	模擬試験実施 時間を測りながら演習、解説③					間違った問題の見直しをしておくこと
	15	検定対策					間違った問題の見直しをしておくこと
評価方法	(1)授業内で模擬試験を実施する。(2)課題演習：単元ごとの確認問題を解答し提出する。(3)出席状況を意欲点として評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	○	◎	○			40%
	提出物評価			◎	◎		40%
	意欲点				○		20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は単位を与えない。操作技能が初級レベルに達しない場合は補講を実施する。						

科目名	ユニバーサルマナー						
科目名(英)	Universal Manner						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	平田 かおり
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	国内航空会社にて国際線グランドスタッフとして勤務
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科 トラベル科 ホテル・リゾート科 2年						
授業概要	超高齢社会にある日本において公共機関、交通機関、商業施設、レジャー施設、観光施設などあらゆる接客・接遇の場面で、多様性と向き合い、全ての人が安心して暮らしていけるサービスが必要である。この授業では、自分のできることや自分の役割を常に意識し、自発的に様々な人に関わり、円滑なコミュニケーションと快いサポートが提供できるようになるスキルの習得を目指す。						
授業形態	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					超高齢社会の日本の現状を学び高齢者体験を通して高齢者の心身の状況を説明できる。	
			○			肢体不自由者の状態を学び、それぞれに応じた適切なサポートができるようになる。	
			○			車椅子の基本的な操作方法を学び、手順書を見ずにサポートできるようになる。	
			○			視覚障がい者の状態と環境を学び、体験を通し介助の仕方を工夫して提供できるようになる。	
		○				聴覚障がい者の状態と環境を学び、相手に合った介助の仕方を理解し説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	オリジナルプリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	超高齢社会の日本の現状				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	2	高齢者介助 ー高齢者の現状				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	3	高齢者介助 ー高齢者の心身の変化				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	4	高齢者介助 ー高齢者とのコミュニケーション				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	5	肢体不自由者-肢体不自由者とは				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	6	肢体不自由者-車椅子介助の操作演習				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	7	肢体不自由者-車椅子介助の操作演習				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	8	肢体不自由者-車椅子介助の操作演習				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	9	肢体不自由者-車椅子介助の実技試験				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	10	視覚障がい者 ー視覚障がい者とは				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	11	視覚障がい者 ー視覚障がい者介助演習(目隠し歩行)				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	12	視覚障がい者 ー視覚障がい者演習(目隠し歩行)				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	13	聴覚障がい者 ー聴覚障がい者とは				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	14	補助犬、ユニバーサルデザイン、様々なマーク				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	15	総まとめ・レポート課題					
評価方法	(1)授業の中で実技試験を実施する。(2)レポート、課題プリントの提出 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業中の実技試験			◎	◎		50%
	レポート提出	○	◎		◎		50%
履修上の注意	出席が10回に満たない学生には、単位を与えない。						

科目名	手話						
科目名(英)	Sign Language						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	平嶋 光希
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 2年						
授業概要	手話入門編を学び、手話技能検定5級の取得を目指す。 視覚的にものをとらえる工夫や様々な手段を使って聴覚がい者に伝え合うことを学ぶ。 手話の基本を身につける。(指文字、挨拶、数字等)						
授業形態	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					視覚障がい者の基礎知識を学び、説明することができる。	
	○					視覚障がい者の生活を理解し、説明することができる。	
			○			手話を使い、自己紹介をすることができる。	
			○			手話技能検定5級に合格することができる。	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	1、2、3講座 伝え合う。名前の紹介(1)				指文字の復習	
	2	1、2、3講座 伝え合う。名前の紹介(2)				指文字の復習	
	3	6ー挨拶・天候・疑問				指文字の復習	
	4	6-1週間・人・家族				指文字の復習	
	5	6ー方向・感情・動作				指文字の復習	
	6	5ー疑問と時間				授業内容を復習しておくこと	
	7	5ー自然に関する単語				授業内容を復習しておくこと	
	8	5ー程度を示す単語				授業内容を復習しておくこと	
	9	5-基本動詞				授業内容を復習しておくこと	
	10	5-基本形容詞				授業内容を復習しておくこと	
	11	色々な質疑応答 接客手話				授業内容を復習しておくこと	
	12	色々な話題提供 接客手話				授業内容を復習しておくこと	
	13	手話検定テキスト まとめ (実技小テスト)				授業内容全体を復習しておくこと	
	14	手話技能検定(5級)対策				授業内容全体を復習しておくこと	
	15	手話技能検定(5級)					
評価方法	(1)授業の中で小テストを実施する。(筆記・実技)(2)課題を提出する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	○	○				60%
	課題提出状況		○		○		40%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	社会教養ⅡB							
科目名(英)	Social EducationⅡB							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	木村 匡志	
実施年度	2023年		実施時期	後期		担当者実務経験		
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 2年							
授業概要	前期に続き就職活動に必要な面接練習や履歴書作成、企業研究などを行う。 社会に出る前に教養を深めるための活動を行う。							
授業形態	講義:		演習:	○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
	○	○				面接練習を通して、自身の考えを人前でしっかりと話せるようになる。		
	○	○				社会常識や社会人として必要な情報を学び、卒業後に繋げられるようにする。		
テキスト・教材 参考図書	就職活動ガイドブック							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	後期の予定と目標設定				授業内容を復習しておくこと		
	2	就職支援				授業内容を復習しておくこと		
	3	就職支援				授業内容を復習しておくこと		
	4	セルフマネジメント研修				授業内容を復習しておくこと		
	5	福岡文化研究				授業内容を復習しておくこと		
	6	新入社員心得①				授業内容を復習しておくこと		
	7	新入社員心得②				授業内容を復習しておくこと		
	8	給与、税金について				授業内容を復習しておくこと		
	9	社会保険の基礎知識				授業内容を復習しておくこと		
	10	社会人マナー学習(ワインセミナー)				授業内容を復習しておくこと		
	11	社会人マナー学習(ワインセミナー)				授業内容を復習しておくこと		
	12	社会人マナー学習(テーブルマナー)				授業内容を復習しておくこと		
	13	社会人マナー学習(テーブルマナー)				授業内容を復習しておくこと		
	14	防災講習				授業内容を復習しておくこと		
	15	社会人研修				授業内容を復習しておくこと		
評価方法	(1)レポート等の課題提出状況(2)出席状況を意欲点として評価する 成績評価基準は、合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。							
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題提出状況					○		50%
	意欲点					○		50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を付与しない。							